

しろいし

shiroishi city council paper

市議会だより

2024年

AUTUMN 秋

第215号

海老名市内のホテルで開催された
姉妹都市提携30周年記念式典祝賀会
〔白石市民団海老名の旅〕参加者も同席



2～5P 9月定例会の概要・審議した議案
5～7P 決算審査特別委員会
8～9P (仮称)道の駅しろいし整備事業契約の締結について

10～13P 市政に対する一般質問(7名)
14P 人事・編集後記

議会を傍聴しませんか？

12月定例会は、12月9日(月)午前10時開会予定です。



インターネット中継



傍聴のしかた

9月定例会

令和5年度決算を認定 一般会計補正予算など16議案可決

令和6年9月定例会は、9月5日から9月27日までの23日間の日程で開催されました。定例会初日、市長提出議案は、報告3件、人事2件、専決1件、令和5年度各会計決算の認定等3件、条例3件、令和6年度各会計補正予算5件の計17件でした。全ての議案の提案理由の説明が行われ、このうち議案第59号から議案第61号は採決の結果、全会一致で同意・承認しました。

一般質問は、9月10日と9月11日の2日間で、7名の議員が質問を行いました。4日目(9月13日)、議案第62号から議案第64号までの質疑が行われ、令和5年度各会計決算の3議案は、決算審査特別委員会に審査が付託されました。その他の議案は質疑の後、表決まで行われ、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

定例会最終日(9月27日)の本会議において、決算審査特別委員会に審査が付託された令和5年度各会計決算(議案第62号から議案第64号)の3議案は、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決・認定しました。

同日、市長提出議案2件が追加提案され、質疑の後、議案第73号(仮称)道の駅しろいし整備事業契約の締結については、反対および賛成の討論があり、採決の結果、議案第73号および議案第74号は、賛成多数で原案のとおり可決しました。



市長の提案理由説明

審議した議案の主なものは次のとおりです。

条例等

◎白石市国民健康保険条例の一部を改正する条例

マイナンバーカードと健康保険証の一体化、国民健康保険証の廃止に伴うもの。

◎白石市郷土資料館建設基金条例の一部を改正する条例

基金の額がすでに1億円を超えているため、条例に明記されている基金の額1億円を削除するもの。

9月定例会で審議した議案

議案番号	件名	審議結果
報告第8号	市長提案 損害賠償額の決定及び和解について	報告
報告第9号	令和5年度白石市健全化判断比率及び資金不足比率について	報告
議案第10号	私債権の放棄について	報告
議案第59号	教育委員会委員の任命について	同意
議案第60号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意
議案第61号	専決処分の承認を求めることについて(専決第17号) (令和6年度白石市一般会計補正予算)	承認
議案第62号	令和5年度白石市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第63号	令和5年度白石市水道事業会計利益の処分及び決算の認定並びに白石市下水道事業会計決算の認定について	原案可決及び認定
議案第64号	令和5年度白石市病院事業会計決算の認定について	認定
議案第65号	白石市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第66号	白石市指定介護予防支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例及び白石市地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第67号	白石市郷土資料館建設基金条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第68号	令和6年度白石市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第69号	令和6年度白石市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第70号	令和6年度白石市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第71号	令和6年度白石市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第72号	令和6年度白石市病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第73号	(仮称)道の駅しろいし整備事業契約の締結について	原案可決
議案第74号	令和6年度白石市一般会計補正予算(第3号)	原案可決

予算

◎令和6年度白石市一般会計補正予算(第2号)

5億8226万4千円追加し、予算総額を177億4187万7千円とする。

〔歳出〕

○白石地区まちづくり協議会 設立準備支援補助金 200万円

○緊急自然災害防止対策事業 (農林水産業費) 1100万円

○緊急自然災害防止対策事業 (土木費) 2億1900万円

〔債務負担行為〕

●認定こども園・子育て支援拠点施設整備事業

〔期 間〕令和6年度～7年度
〔限度額〕2019万円



〔質疑〕白石地区まちづくり協議会設立準備支援補助金について、設立準備委員会発足までの経緯と協議会設立に向けた支援内容は。

〔答弁〕まちづくり協議会が存在しない白石地区の地域づくり推進体制整備を支援し、意見交換会や世代別会議、地域づくりフォーラム等の取り組みを通して、本年4月に「(仮称)白石地区まちづくり協議会設立準備委員会」を発足した。

地域づくりに精通している中間支援組織の専門家に携わっていただきながら、まちづくり協議会設立に向けた検討会議や、多くの地区住民との対話の場の開催などを支援していく。

〔質疑〕緊急自然災害防止対策事業について、4市道の水路改修および法面対策工事請負費の詳細は。

〔答弁〕国の緊急自然災害防止対策事業債を活用し、災害の拡大を防止することを目的として、福岡地区の市道三住線・市道南

部山線の法面対策と市道愛宕線市道鎌先4号線の排水対策を実施し、道路利用者の安全・安心を確保するもの。

〔質疑〕認定こども園・子育て支援拠点施設整備事業の基本設計業務の委託概要は。

〔答弁〕施設の構造や設備、間取りを明確にし、実施設計業務の基本となる配置図、平面図、設備図、外構図などの図面のほか、建築の設計概要書などを作成するもの。

◎令和6年度白石市一般会計補正予算(第3号) (定例会最終日提案)

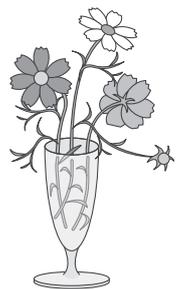
725万3千円追加し、予算総額を177億4913万円とする。

〔歳出〕

○土木費の補正額 (道の駅整備事業) 740万3千円

○予備費の補正額 △15万円

△15万円



〔質疑〕道の駅整備事業のモニタリング支援業務の内容は。

〔答弁〕選定委員会で審査を受けた提案書や要求水準書の内容が適切に履行されているか、専門的な業者の支援を受け、モニタリングを実施するもの。

〔質疑〕次年度以降も必要な業務か。

〔答弁〕デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生拠点整備タイプ)を活用し、令和6年度は実施設計、令和7年度と令和8年度は建築工事をモニタリングするもの。

(仮称)道の駅しろいし整備事業契約の締結については、8・9ページをご覧ください。

第469回 市議会定例会(9月27日) 意見が分かれた議案の賛否一覧

件名	議員氏名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
			佐藤龍彦	高子秀明	伊藤勝美	澁谷政義	沼倉啓介	大森貴之	佐久間儀郎	四電英夫	小川正人	角張大治	大内卓也	佐久間順子	村上由紀	角張一郎	佐藤秀行	松野久郎
議案第74号 令和6年度白石市一般会計補正予算(第3号)		原案可決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議

※「○」⇒賛成した議員、「×」⇒反対した議員、「欠」⇒欠席した議員、「議」⇒議長のため表決に加わらない

令和5年度 一般会計・特別会計決算の状況

[単位：円]

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	20,035,284,564	19,102,139,982	933,144,582
特別会計	8,289,231,263	7,909,639,778	379,591,485
国民健康保険	3,630,176,643	3,571,170,114	59,006,529
介護保険	4,170,502,141	3,877,336,085	293,166,056
後期高齢者医療	488,552,479	461,133,579	27,418,900
合計	28,324,515,827	27,011,779,760	1,312,736,067

令和5年度 地方公営企業会計決算の状況

〔水道事業〕

(消費税及び地方消費税を含む) [単位：円]

項目	収入	支出
収益的収支	906,019,794	835,887,857
資本的収支	57,652,894	206,158,845

〔下水道事業〕

(消費税及び地方消費税を含む) [単位：円]

項目	収入	支出
収益的収支	985,525,289	899,250,309
資本的収支	476,119,870	861,663,694

〔病院事業〕

(消費税及び地方消費税を含む) [単位：円]

項目	収入	支出
収益的収支	965,971,840	949,681,864
資本的収支	1,243,490,000	1,480,515,337

決算

◎令和5年度白石市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について

◎令和5年度白石市水道事業会計利益の処分及び決算の認定並びに白石市下水道事業会計決算の認定について

◎令和5年度白石市病院事業会計決算の認定について

総括質疑

◎令和5年度白石市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について

〔質疑〕一般会計の実質単年度収支額が6億3157万5千余円の赤字計上であるが、総括は。

〔答弁〕赤字計上の主な要因は、公立刈田総合病院の指定管理者制度導入に伴う退職手当組合負担金4億6358万2千円を支出したためであり、実質単年度収支の7割以上を占めた。この支出は令和5年度1回限りのもので、将来にツケを残さない市政運営という思いで公立刈田総合病院の公設民営化に

取り組んだ結果である。

また、財政調整基金、減債基金、都市整備基金の主要3基金は19億84万円減少したが、このうち8億7170万円は、組合解散時の清算金を活用し、令和3年度に旧組合が発行したコロナ債(新型コロナウイルス感染症に係る公営企業の特別減収対策企業債)を全額繰上償還したためで、一般会計からの繰出金で負担する病院事業債は、令和4年度末の7億4101万2千円から令和5年度末で5億1374万7千円にまで減少させる大きな要因となった。

〔質疑〕令和5年度は公立刈田総合病院が市立病院に生まれ変わり、小中一貫の学びの多様化学校「白石きぼう学園」が開校したが、市政運営の感想は。

〔答弁〕公立刈田総合病院が公設民営の市立病院として再スタートできたことは、本市にとって歴史的な出来事で、予想をはるかに上回るスピードで経営が改善され、提供される医療の質も向上している。

教育機会確保法施行後、全国初となる小中一貫の学びの多様化学校「白石きぼう学園」の開校も、それまで学校に通うことができなかった子どもたちが、笑顔で学校に通い、保護者からも感謝の言葉をいただいていることが最大の成果である。

また、本市の教育改革の取り組みは世界からも注目され、OECDが実施する教育プロジェクトに参画することになり、将来を担う子どもたちの個別最適な学びの質を向上させる素晴らしい機会になる。

それ以外にもスマートインターチェンジと周辺整備事業など、市長就任以来時してきた種が、ようやく芽を出した年になった。
市政改革の流れを止めることなく、持続可能な白石市を創るため、積極的に挑戦を続ける決意を新たにしている。



◎令和5年度白石市病院事業
会計決算の認定について

【質疑】指定管理者制度を導入し、医療法人仁誠会による運営を開始したが、病院運営の評価は。

【答弁】救急患者の受け入れ件数や病床稼働率の大幅な増加、単月黒字化の達成など、大きく状況が変わっている。

指定管理者において、白石高校の看護実習や整形外科手術の再開、「連携プラン」に基づく回復期医療の充実のため、リハビリの職員を増員、休床している病床47床も看護師の採用を進め、今年度中の再開を目指す。

市としても、3階病床床の全面改修、1階受付ロビーの照明のLED化を実施、企業債の一部を繰上償還するなど、これまでできていなかったものの実施や整理をしている。
今後指定管理者と協力し、仙南地域の医療の充実に貢献していきたい。

決算審査特別委員会

第62号議案・令和5年度白石市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定についてから第64号議案・令和5年度白石市病院事業会計決算の認定についての3議案は、定例会4日目（9月13日）の本会議において質疑が行われた後、議長および監査委員（四竈英夫）を除く全議員で構成する決算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。
同委員会（委員長・大森貴之、副委員長・高子秀明）は、9月24日・25日の2日間に行ったり審査を行い、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決及び認定しました。
審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

一般会計

総務費

◎白石市民バス運行管理事業・
運行状況

【質疑】中学生の通学利用の実情に合わせた運行計画の見直しの内容と、その効果は。

【答弁】東中学校の完全下校時間が午後5時と早くなったことに伴い、午後6時台発の白川線6便を廃止、午後4時台発の

4便の運行期間を延長した。
市民バス乗降調査によると、中学生の利用者数は、4便、5便とも平均6.3人であったことから、利用頻度が高いものと分析している。

【質疑】まちなか循環便以外の利用者数は、前年度と比較し1日当たり1人増にも満たないが、次なる方策の内容は。

【答弁】一人ひとりに合った移動手段を、既存の公共交通だけで確保することは困難である。
鉄道やバス、タクシーに加え、市民バスや乗合タクシー、住民

主体の地域内交通など、多様な交通サービスと連携し、本市の実情に合った移動手段の確保に努める。

◎男女共同参画推進事業

【質疑】女性委員の登用が、数値目標（40％）に達しない要因は。

【答弁】数値目標に達しない要因として、①団体内に女性が少ないため、委員に推薦されにくいこと、②女性人材の少ない分野があること、③団体等から選出される委員の多くが団体等の長であり、女性の推薦に繋がりにくいことなどが考えられる。

◎ふるさと納税推進事業

【質疑】寄付金額増加を見込む上での今後の課題は。

【答弁】本市の魅力発信、魅力ある返礼品の提供、寄付者の利便性の向上が課題である。
今後寄付受け入れポータルサイトや中間事業者と連携

し、本市や返礼品を紹介する特集記事掲載などに取り組んでいく。また、寄付受け入れポータルサイトや中間事業者の追加、見直しなどの検討を進めるとともに、市内の事業者と連携し、魅力ある返礼品の提供や開発などにより、事業者の売り上げの向上にも取り組んでいく。

【質疑】令和5年度のリピーター率は。

【答弁】本市に2回以上寄付をした方は2996人、7283件で、件数に対するリピーター率は16％である。



70th ANNIVERSARY

民 生 費

◎子育て支援・多世代交流
複口施設運営事業

〔質疑〕こじゅろうらっくキッズランドの利用者のうち、白石市民の人数は。

〔答弁〕令和5年度の利用者総数9万1747人のうち、白石市民は9748人である。

〔質疑〕当事業が定住支援のきっかけとする根拠は。

〔答弁〕定住につながったとするデータは把握していないが、来館者の約89%が市外の方で、館内の一角に「白石市子育てサポート情報掲示板」を設置し、本市の子育て支援に係る情報を発信することで定住支援を図っている。

また、白石市移住交流サポートセンター「109・one（トークワン）」と連携し、お試し住宅の利用者に、キッズランドの体験をしていただいていることも、定住先を決める判断材料の一つになっている。

衛 生 費

◎保健衛生総務費

〔質疑〕白石市病院事業会計への出資金・補助金・負担金の額および繰出金の合計額とその詳細は。

〔答弁〕一般会計から病院事業会計への繰出金は、補助金5億8403万5626円、負担金3億9803万69800円、出資金11億9519万円であり、総額で20億8906万2606円。

負担金と補助金は、病院事業会計で指定管理者への委託料（1億円）、経営基盤強化交付金（3億円）、給与特例措置交付金（現給保障）（7089万円）、長期前受金戻入分を除く減価償却費等（2億7998万円）、企業債利息（9716万円）、職員給与費（38878万円）などに充当している。出資金の11億9519万円のうち、8億7170万円は、病院事業会計において、令和3年度に借入れを行

農 林 水 産 業 費

◎農産物等販売施設運営事業

なった特別減収対策企業債（コロナ債）の繰上償還を行い、それ以外の3億2349万円は、通常の償還金に充当している。

〔質疑〕おもしろい市場について、取引している農産物生産者、物産事業者数の推移と、新規の農業者向けに出品を促す取り組みの内容は。

〔答弁〕過去3年間の農産物生産者数は、令和4年度96人、令和5年度92人、令和6年度93人、物産事業者数は、令和4年度36事業者、令和5年度と令和6年度は38事業者である。

指定管理者からは、新聞の折り込みやイベントなどでPRを行うほか、SNSを活用した情報発信を行い、さらなる生産者の確保に努めると報告を受けており、市においても、新規就農者への呼びか

商 工 費

◎商工業振興事業

けや広報紙に会員募集のお知らせを掲載するなど、生産者の確保に努めていきたいと考えている。

〔質疑〕全日本こけしコンクールの売り上げと、コロナ禍前との増減比較は。

〔答弁〕令和5年度のコンクール出品作品の販売や、招待工人による実演販売、即売などによる売り上げは710万4590円で、コロナ禍前の令和元年度583万630円と比較すると、127万3960円の増となっている。

売り上げが増加した要因は、新しい販売企画である「中ノ沢こけし展示販売会」と「ちやっこいこけし展」が好評を得たことと考えている。

〔質疑〕生活応援商品券「ワンだふるクーポン」の利用状況は。

〔答弁〕市内小売店・飲食店等

で活用できる3千円分の商品券を、令和5年度は2回にわたり配布した。

使用実績額は、第1弾が9202万8500円で、使用率は97.85%、第2弾が9158万7千円で、使用率は98.65%である。

◎白石スキー場運営事業

〔質疑〕地元住民の雇用人数は。

〔答弁〕令和5年度は、46人雇用中、白石市の方は38人で、そのうち不忘地区、蔵王地区、三住地区の方は15人である。

令和5年度は暖冬による雪不足のため雇用が減少したが、令和4年度は64人雇用中、白石市の方は54人で、そのうち不忘地区、蔵王地区、三住地区の方は20人であった。

消 防 費

◎消防施設・防災対策事業

〔質疑〕消防団員の装備品や消防施設整備は十分か、今後とも拡充が必要か。

【答弁】 装備品は、夜間活動における安全確保のためのヘッドライト、林野火災等に対応するための背負い式水のう(シエットシューター)を購入した。活動服などは、経年劣化等により交換が必要となった団員に対し、速やかに支給している。

消防施設の整備は、防火水槽の修繕・消防ポンプ積載車庫、消防ホース乾燥塔の修繕撤去工事など、必要に応じ順次実施している。

また、地元自治会や消防署からの要望に基づき、消火栓の新規設置についても順次進めている。

市民の安全・安心を守るため、今後も激甚化・頻発化する災害に適切に対応するため消防・防災対策の拡充に努めていく。

教育費

◎学力向上プロジェクト事業

【質疑】 国語科教育の充実に向けた授業づくり研修の事業の詳細と成果は。

【答弁】 本市教育アドバイザーによる市内教員対象の研修会を令和5年11月に4日間実施したもので、「全国学力・学習状況調査の理解と学習指導の改善充実を図ること」を目的に、講話による研修を行なった。

また、福岡小学校、福岡中学校、大平小学校を会場に、国語科の授業参観を行い、授業者への指導・助言の機会としたほか、教育アドバイザーによる模範授業と授業の解説、授業づくりに対する講話を実施した。

成果として、調査結果の活用や、課題としている分野の指導を見直す機会となり、国語科における授業づくりの理解が図られ、日々の授業改善につながった。

◎図書館運営状況

【質疑】 電子図書館の蔵書数、成果、今後の課題は。

【答弁】 令和6年3月31日現在の蔵書数は1187点で、令和4年度の実績と比較する

と、有効登録者数、ログイン回数、貸出数、閲覧数ともに、30%以上増加している。

電子図書館のコンテンツのライセンスが期限切れとなった資料は入れ替え等が必要であるが、昨今の物価上昇に伴い、ライセンス料も上昇して、蔵書数の維持増加が難しくなることが懸念される。

特別会計

国民健康保険事業

【質疑】 人間ドックの助成額が、令和4年度から約1千万円減少了理由は。

【答弁】 令和4年度までは、人間ドック費用3万9600円に対し、人間ドックの助成対象年齢満40歳から満74歳のうち、満40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の方は、自己負担額が5千円、それ以外の方は1万円となるよう助成していたが、令和5年度からは、助成額を一律1万円に減額した。

また、令和4年度の申請者数

404人から令和5年度は195人に減少したことから、約1千万円の減額となった。

【質疑】 特定健康診査受診率の目標を達成して、医療費が抑制されたのか。

【答弁】 令和5年度の特定健康診査の受診率は43%で、目標値40.5%を達成できたが、特定健康診査による病気の早期発見により、病院受診が増える場合もあることから、目標値達成により医療費が抑制されたとは言えない。

【質疑】 医療費通知が医療費削減の動機づけになるような、特別な取り組みを行なっているか。

【答弁】 特別な取り組みとして、重複服薬予防の通知を行なっている。通知後はレシートで処方状況を確認し、薬の重複が改善されているか確認している。

【質疑】 令和5年度決算において、健全運営がなされている状況と考えるか。

【答弁】 前年度からの繰越金や基金からの繰入金を除いた実質収支は赤字であることから、厳しい財政状況にあり、健全運営とは言えない。

介護保険事業

【質疑】 高齢者権利擁護に関する相談数が増加している要因と状況は。

【答弁】 1人暮らしの高齢者世帯等の増加に伴い、解決が困難なケースが増加していること、市民の権利擁護に対する意識・関心が高まってきていること、地域包括支援センターが相談窓口であるとの周知が浸透してきたことなどが増加の一因と考える。

虐待の相談は、心理的、経済的虐待が増加傾向にあり、また、成年後見の相談や親族の減少、関係性の希薄さにより、身元保証人の問題で施設入所や住み替えができないなどの相談が増えている。

質疑・答弁 抜粋

【質疑】議案提出に至る市長の感慨と決意は。
【答弁】スマートインターチェンジと周辺整備は、本市の起爆剤になるもの確信しており、さらなる企業の集積、観光振興・経済発展に結びつけ、「選ばれる白石市」を創造していく。
【質疑】訴訟がおこされていることをどのように捉えているか。
【答弁】市としては、募集要項に基づき適切に事業者選定手続きを進めてきたものと認識している。
【質疑】優先交渉権者の提案を高く評価した具体的な内容は。
【答弁】(仮称)道の駅しろいし整備運営事業者選定委員会の審査講評にもあるとおり「道の駅を核とした地域活性化への取り組み、道の駅と防災公園の円滑な一体的整備運営に資する取り組みや、本事業を市民とともに育てる取り組みなど、本事業にふさわしい、市の明るい未来を期待させる未来志向の提案である」ことが、委員会で高く評価されたものと認識している。
【質疑】構成員および協力企業の変更について、協議日時、協議者、協議内容は。
【答弁】令和6年8月22日付けで、代表企業である株式会社サンアメニティから、建築建設業務を担当する予定だった構

成員2社について、施工体制が整わなくなったため応募グループ構成を変更したい旨、また、協力企業1社についてグループ内の体制見直しにより脱退する旨の変更協議を書面で受領し協議に応じたものである。
【質疑】最優秀提案者の構成員から2社が抜けた理由は。
【答弁】代表企業である株式会社サンアメニティから、建築建設業務において施工体制が整わなくなったことを理由に協議を受けている。
【質疑】協力企業から、市内唯一の会社が抜けた理由は。
【答弁】グループ内の体制見直しにより脱退したとの協議を受けている。
【質疑】市のホームページで、構成員・協力企業の変更を公表しないのか。
【答弁】議会の承認を得たのち、事業契約の内容について、公表を行う予定である。
【質疑】優先交渉権者の決定について、市民への説明は十分か。
【答弁】これまでの経過を市ホームページで公表している。引き続き、さらに信頼を得られるよう努めていく。



角張 大治 反対討論
(要約)

優先交渉権を得たグループの構成員2社と協力企業1社が脱退、構成企業の変更が生じている。募集要項の「構成企業の変更は原則認めない」に従えば、この変更は容易に認められるべきではないが、市が変更を容認し、今定例会で強引に契約を進めることに疑念を抱く。当事案は訴訟案件としてメディアにも報じられ、契約を強行すれば市政全体の信頼を損なう可能性がある。さらに、プロポーザル制度自体の信頼が損なわれ、公正な競争を妨げる前例を白石市が作ることになりかねないと危惧している。議員には、市民の信頼を裏切らない責任があり、可決すればルール軽視や透明性の欠如という誤ったメッセージを送ることになる。よって、当議案に強く反対するものである。



賛成討論 佐久間 儀郎
(要約)

事業者選定手続きは、PFI手法の手続きについて、数多くの経験がある有識者3名を含む事業者選定委員会を設立し、応募提案受付の一年以上前から本事業の進め方を議論し、丁寧に審議が重ねられ、最優秀提案者の決定に至っている。また、審査講評を見ても、応募提案に対しプレゼンテーション審査を行うなど、丁寧に評価された上で適正に決定したことが明白であり、疑う余地はない。募集要項に基づき適正に措置され、最優秀提案者として選定された企業グループが設立した法人と、仮契約に至ったことが十分に納得できるものであった。よって、関係法令に沿って適正に進められ、本議案が提出されていることから反対する理由は何もなく、賛成するものである。

第469回 市議会定例会 (9月27日) 意見が分かれた議案の賛否一覧

件名	議員氏名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
			佐藤龍彦	高子秀明	伊藤勝美	澁谷政義	沼倉啓介	大森貴之	佐久間儀郎	四竈英夫	小川正人	角張大治	大内卓也	佐久間順子	村上由紀	角張一郎	佐藤秀行	松野久郎
議案第73号 (仮称)道の駅しろいし整備事業契約の締結について		原案可決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	議

※「○」⇒賛成した議員、「×」⇒反対した議員、「欠」⇒欠席した議員、「議」⇒議長のため表決に加わらない

議案 第73号

(仮称) 道の駅しろいし 整備事業

原案可決

～契約の締結について～

提案理由

(仮称)道の駅しろいし整備事業については、公募型プロポーザル方式により事業者を公募し、本年6月19日、参加企業グループ3者によるプレゼンテーションを実施しました。

審査の結果、最優秀提案者としてサンアメニティグループ(代表企業株式会社サンアメニティ)が選定され、企業グループが設立した法人と仮契約したことから、地方自治法等の規定に基づき、議会の議決を得て、本契約するものです。

事業名	(仮称)道の駅しろいし整備事業
契約の方法	公募型プロポーザル方式
契約の金額	59億9059万6千円
契約の相手方	株式会社しろいしグロウパーク (サンアメニティグループが設立した法人名)

最優秀提案者決定までの経緯

令和6年2月15日 ～2月26日	一次審査(資格書面審査)書類の受付 応募者4者 市は応募者から提出される書類に基づき、参加資格要件を満たしているか審査
令和6年3月5日	一次審査(資格書面審査)結果通知
令和6年3月5日 ～3月8日	募集要項等に関する対話の受付
令和6年3月12日	募集要項等に関する対話の実施
令和6年4月4日 ～5月10日	二次審査(提案審査)書類受付 提案者3者
令和6年6月19日	プレゼンテーション審査
令和6年7月2日	二次審査(提案審査)結果通知、結果の公表



**最優秀提案者：優先交渉権者
サンアメニティグループ**

公募型プロポーザル方式とは



公募型プロポーザル方式とは、公共事業や大規模プロジェクトにおいて、事業者を選定するために広く募集を行い、参加希望者からの提案(プロポーザル)を評価して最も適した事業者を決定する方式。価格だけでなく、提案内容、技術力、事業計画などを総合的に審査し、質の高い提案を選び出すことができる点が特徴。

(仮称)道の駅しろいし整備事業においては、施設の設計・建設を行い、施設の所有権を市に譲渡した後、事業期間にわたって維持管理・運営を行う事業者を選定する。

(仮称)道の駅しろいし整備事業の概要

(仮称)白石中央スマートインターチェンジに隣接する敷地を活用して、道の駅と防災公園(スポーツ・レクリエーション施設)を一体的に整備・運営するものです。



(仮称)道の駅しろいし イメージパース

市政に 対する 一般質問

〓〓7名の議員が質問〓〓

9月定例会の一般質問は、9月10日・11日の2日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

※二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

大内 卓也

白石市幼児教育・保育のあり方に関する基本方針について

佐久間儀郎

空き家対策推進について

佐藤 龍彦

交通弱者支援について

四竈 英夫

畜産農家への支援について

村上 由紀

困難を抱えた子どもたちへの支援施策の推進状況について

大森 貴之

伝統工芸品への支援について

佐久間順子

障害者支援対策について

二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

白石市幼児教育・保育のあり方に関する基本方針について

大内 卓也



〔質問〕すでに休園を検討している園は存在するのかが伺う。

〔答弁〕【教育長】具体的にこの園という検討はしていない。

〔質問〕休園となった建物の今後の活用方法はあるのかが伺う。

〔答弁〕【子ども未来課長】休園の場合は制度上、他の用途として活用することができない。閉園の場合は、長寿命化して活用するか解体も視野に入れ、市として検討していくことになる。

〔質問〕説明会の声などがどのように本方針に反映されたのかが伺う。

〔答弁〕【教育部長】公立認定こども園と子育て



協議を行うことは可能であるが、現時点で協議の申し出はない。

〔質問〕宮城県立角田支援学校白石校とともに、

宮城県立角田支援学校の移転先として、県へ白石高等技術専門学校を提案することはできないか伺う。

〔答弁〕【学校管理課長】白石中学校において、宮城県立角田支援学校白石校に教室を貸していることもあり、特別支援学級の教室が狭いという声があることは承知している。

また、宮城県立角田支援学校白石校においても、特別支援学校設置基準に基づく校舎の必要面積を満たしていないという状況である。宮城県立角田支援学校本校の建設は昭和57年で、築40年を超えることから、宮城県立白石高等技術専門学校の利活用について、宮城県教育委員会に伝えていきたい。

空き家対策推進について

佐久間 儀郎



〔質問〕空き家の増加は、地域の安全・安心確保の観点から社会問題であり、対策は重要な行政課題である。

本市は、令和4年3月に「第二期空家等対策5カ年計画」を策定。他方、国は総合的な対策強化のため、「空家等対策特別措置法」を一部改正し、令和5年12月13日に施行した。

本市空き家バンクの活用状況を伺う。

〔答弁〕「まちづくり推進課長」令和元年11月に公益社団法人宮城県宅地建物取引業協会お

よび公益社団法人全日本不動産協会宮城県本部との3者で、空き家バンク事業に関する協定を締結。令和6年8月末までに登録のあった空き家物件数は10件で、そのうち4件が売買および賃貸契約の締結に至っている。

現在の登録空き家物件数は3件で「空き家をお探しの方」として利用登録している方は8世帯である。

〔質問〕新設の「管理不全空家」への対応を伺う。

〔答弁〕「建設課長」「管理不全空家」に指定され、催告までいくと「特定空家」と同様に、固定資産税の住宅用地特例措置の対象から除外さ

れることから、空き家の適切な管理を促す効果があると考ええる。

今後は、周囲に悪影響を及ぼす恐れのある空き家も増加すると思われることから、「管理不全空家」への認定も検討していく。

〔質問〕市町村の補完的な役割として「空家等管理活用支援法人制度」が設けられたが、対応を伺う。

〔答弁〕「建設課長」これまで職員が実施してきた所有者等からの相談や情報提供、空き家の所有者の特定作業等支援法人へ委託することが可能となる制度である。

導入している自治体がまだ少ない状況であることから、全国的な動向を注視しつつ、情報収集していきたい。

二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

交通弱者支援について

佐藤 龍彦



〔質問〕本年6月から、小原地区において、新たな地域内交通のモデルとして、「おらいのくま」事業の本運行が開始されたが、現時点の利用実績を伺う。

〔答弁〕「まちづくり推進課長」運営主体の小原地区振興会に確認したところ、令和6年1月からの実証実験を含め、累計57名が利用したと聞いている。

〔質問〕「おらいのくま」事業の課題を伺う。

〔答弁〕「まちづくり推進課長」持続可能な地域内交通を目指すために、特にボランティアド

ライバーの確保、組織的な運営体制の整備が課題であると考えている。

〔質問〕今後、課題にどのように取り組んでいく考えなのか伺う。

〔答弁〕「まちづくり推進課長」本年8月から、小原地域内交通運営委員会を発足し、組織的な運営体制を整備していただいている。

また、ドライバーの確保について、利用者からも待遇向上を求める声も多いことから、燃料代実費相当分として片道50円の利用料金に加え、例えば地域内で募った協力金を原資として、報酬を上げることができなにか検討を重ねていると聞いている。こちらについては、道路運送法における許可または登録を要しないボランテ

ィア輸送について、令和6年3月に国から通達が出されており、謝礼や報酬に関する考え方が新たに示されていることから、現在、運輸局に確認しているところである。

〔質問〕運転免許自主返納者に対して、独自の支援策を検討できないか伺う。

〔答弁〕「市長」運転免許自主返納者への支援については、以前、検討はしたが、実施には至っていない。しかしながら、高齢運転者の交通事故割合は、毎年増加しており、高齢者が加害者となる割合も高いことから、本市においても、運転免許自主返納者に対して、不安を軽減できるように、引き続き支援策を検討していきたい。

その他の質問

◎(仮称)白石中央SIC周辺のインフラ整備事業について

畜産農家への支援について

四竈 英夫



〔質問〕子牛価格の暴落と、飼料代の高騰で畜産農家が窮地に陥っている。

〔答弁〕〔市長〕国際情勢を背景とした飼料価格の高騰と、和牛の消費低迷で農家は大きな打撃を受けていることは認識している。本市としては「畜産生産資材価格高騰対策緊急支援事業」などを実施してきた

が、本年度は国や県からの交付金は見込めない状況である。今後、宮城県市長会を通じて、全国一律の支援制度を講じるよう国や県に対して強力に働きかけていく。

〔質問〕県やJA全農宮城との連携で、低利融資と利子補給等の支援はできないか伺う。

〔答弁〕〔市長〕県の制度資金である農林業災害対策資金に「原油価格・農業資材等物価高騰」「子牛価格下落」を要件に盛り込むことが検討されていることから、注視していきたい。

〔質問〕牛肉の消費拡大の施策を伺う。

〔答弁〕〔市長〕昨年の農業祭で、仙台牛の販売イベントを実施したところ、好評であったことから、今年度も実施し、消費拡大の支援をしていき

たい。

市役所新庁舎の建設について

〔質問〕本市役所庁舎は昭和48年に建設され、51年が経過し老朽化が進んでいる。

また、保健福祉部、農林課、上下水道事業所、環境課などは本庁舎から離れた建物で業務を行っており、不便を感じる。

これらのことから、新庁舎建設構想はあるのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕施設設備の老朽化と市民サービス確保のため、庁舎の今後の方向性について検討している。

〔質問〕建設計画はいつ頃か伺う。

〔答弁〕〔市長〕本市行政施設個別施設計画において、令和13年度から令和22年度までの10年間の間に新設する計画としている。

〔質問〕資金計画について伺う。

〔答弁〕〔市長〕積立金と地方債、一般財源で確保する計画としている。

二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

困難を抱えた子どもたちへの支援施策の推進状況について

村上 由紀



〔質問〕全国的に子どもを取り巻く課題は多様化・複雑化している。子どもたちが生まれ育った環境に左右されることなく、貧困や虐待などが世代を超えて連鎖することのないよう支援を行うことは、子どもたちの生命と将来を守る最優先事項であると考える。

自ら支援を求めることが困難な家庭への対策を伺う。

〔答弁〕〔子育て支援課長〕保健師・助産師・家庭相談員が、母子手帳交付時等に、健康状態、生活状況、メンタルヘルス上の課題や、虐待につながるリスクを確認し、早期に支援につなげている。

〔質問〕子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業の事業内容と実績を伺う。

〔答弁〕〔子育て支援課長〕児童虐待等で保護を要する児童、養育支援が必要な児童や保護者に対し、関係する複数機関で援助を行うため、要保護児童対策地域協議会を設置している。会議では虐待ケースの進行管理や情報共有を行い、相互の役割の確認を行いながら、顔の見える関係性を築き、子どもへの最善の利益のため、適切な支援ができるチーム体制の強化に努めている。

令和5年度は、虐待など18世帯34名について協議を行なった。

〔質問〕養育支援訪問事業の詳細を伺う。

〔答弁〕〔健康推進課長〕養育支援が特に必要と

認められる保護者に対し、出産前から家庭訪問を行い、相談や保健指導、育児の助言など必要な支援を行なっている。

実施件数の割合は、令和元年度は16.5%、令和5年度は35.6%と増加しているが、妊娠中から対応していること、少子化により深いモニタリングとなっていることによるものと思われる。

〔質問〕相談事について早期解決を図ることが最も必要と考える。早期解決のための具体的な取り組みを伺う。

〔答弁〕〔子育て支援課長〕支援対象者の状況を深く理解し、ありたい姿に向けての支援の方向性を明確にする。困難を感じた時に助けを求めることができる関係性や、信頼する人ができた実感できる関係を構築し、定期的な連絡を取り、継続的な支援を行なっている。

〔その他の質問〕

◎子ども第三の居場所 「つるいせまち」につるい

伝統工芸品への支援について

大森 貴之



の場所、数量等は現在のところ把握していない。

〔質問〕市が所有する山林で、原木を植樹できないのか伺う。

〔質問〕本年開催された全日本こけしコンクールは大盛況であったが、来年以降、幾つかの不安要素が見受けられる。こけしの材料となる原木、特にミズキの木の入手が困難になっており、白石に限らず、鳴子や他の産地でも同様の状態と言われている。

〔答弁〕〔商工観光課長〕平成の森に市行造林として植栽したミズキが活用できる状態になっていることを確認している。

また、今年は弥治郎こけし村が開村30周年を迎える記念の年であることから、同地内に30本のミズキを植栽したいと考えている。

〔質問〕白石市として、こけし原木の生産に積極的に関わり、林業としての生業に取り組んでいくべきと考えるが、見解を伺う。

〔答弁〕〔商工観光課長〕こけし工人からは、その都度、入手可能な林業事業者などから調達しているというが、市として具体的な伐採

〔答弁〕〔市長〕白石蔵王森林組合も含め、専門の

方々と連携をしながら、これらの課題に向き合っていきたい。

〔質問〕白石和紙は、伊達藩主とその家臣片倉家による奨励保護のもとで発展。地元で採れる優良の楮(コウゾ)を用いた紙が使われ、地域を代表する名産品となり、全国的な名声を博し、幕府や朝廷への献上品にもされた。遣欧使節の支倉常長が懐紙として持参し、フランスやヨーロッパでも非常に高い評価を受けている。

白石和紙の継続発展のために、伊達藩が行なったような官民体の支援を、市として総合的にできないのか伺う。

〔答弁〕〔副市長〕白石和紙は、白石三白の一つとして、今後引き継ぎ、白石和紙の製造と継承を多方面から支援していきたい。

障害者支援対策について

佐久間 順子



〔質問〕放課後児童デイサービスについて、福祉団体より、長期休暇時に近隣市町の事業所を利用しているケースがあると聞いている。

本市として、どのように考えるか伺う。

所予定の事業所があることから、仙南圏域では今後、利用先の受け入れも拡充し、利用者のニーズに合わせた支援が可能となる。

〔質問〕医療的ケア児の保育園入園について伺う。

〔答弁〕〔市長〕医療的ケア児の入園の希望があれば、可能な限り適切な支援が受けられるよう、関係機関と緊密な連携のもと、安心して子どもを産み育てることができると、誰一人取り残されない幼児教育・保育の実現に向け、切れ目のない支援体制を構築していく。

〔質問〕新生児自動聴性脳幹反応検査の助成金について伺う。

〔答弁〕〔健康推進課長〕

本市では、令和4年度から実施している。

医療機関によって、自動聴性脳幹反応検査と、スクリーニング用耳音響放射の2種類が使用されているが、いずれの検査も助成対象としていない。なお、助成上限額については、これまで5千円としていたが、令和6年度から8千円に引き上げ、初回検査において、再検査になった場合においても同様に、8千円を上限に助成している。

〔質問〕今後の本市の障害者支援のための体制整備について伺う。

〔答弁〕〔市長〕本市だけではなく、仙南地域での広域連携を強固なものにし、限られた社会資源や人材を最大限に活用し、障害の有無によらず誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる社会を目指し、今後も努力していく。

二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

人事

9月定例会において、次のとおり任命推薦することに同意しました。

〔教育委員会委員〕

(任期：令和6年10月1日～令和10年9月30日)

小室 秀一 氏

〔人権擁護委員〕

(任期：令和7年1月1日～令和9年12月31日)

石川 豊子 氏

齋藤 のり子 氏

佐藤 由光 氏



海老名市のダンスグループが「うめん体操」を踊りました

白石市議会会議録を公開しています

白石市議会 会議録

市議会のホームページに会議録を公開しております。
キーワードでの検索のほか、会議・発言者・期間でも検索できます。
どうぞご覧ください。

議会を傍聴してみませんか？

12月定例会は、12月9日(月) 午前10:00開会予定です

氏名・住所の記入など、簡単な手続きで傍聴ができます。
また、会議の様子は「インターネット中継」や「録画配信」を行なっております。
ぜひ、ご自宅のパソコンなどをご覧ください。

<9月定例会>

- 傍聴者のべ人数 33人
- ライブ配信視聴回数 1,084回
- 録画視聴回数 739回

※録画配信は、映像の編集を行うため、ライブ配信終了後
おおむね5日後(土日・祝日を除く)からご覧いただけます。



インターネット中継



傍聴のしかた

白石市議会ホームページの
「白石市議会インターネット中継」をクリック



編集後記

第469回定例会では、慎重なる審議の結果、全ての議案が可決・承認・認定されました。

議会傍聴やインターネットにてご視聴いただいておりますが、議会だよりでは、要約したものを文字化してご覧いただきたく、広報委員一同、制作に当たっております。

前号の議会だよりから、一般質問等に二次元コードが添付されており、ご活用いただければ幸いです。

多くの皆さまにご覧いただけるよう、一層の紙面充実に向け精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

議会広報委員会
大森 貴之

議会広報委員会 委員

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 四竈 英夫 |
| 副委員長 | 村上 由紀 |
| 委員 | 佐藤 龍彦 |
| 委員 | 高子 秀明 |
| 委員 | 大森 貴之 |
| 委員 | 角張 大治 |
| 委員 | 大内 卓也 |
| 委員 | 佐久間 順子 |